

国立大学法人等のキャンパスを創造する

施設系技術職員



仕事紹介ガイド 2020

国立大学法人等とは

文部科学省所管の国立大学法人，大学共同利用機関法人，独立行政法人国立高等専門学校機構 等

国立大学法人

- 全国に86ある国立大学が，それぞれ独立した法人格を持って運営されています。

大学共同利用機関法人

- 先端的な共同研究を行う中核的研究拠点として，人間文化研究機構，自然科学研究機構，高エネルギー加速器研究機構，情報・システム研究機構の4つの機構が設置されています。

独立行政法人 国立高等専門学校機構等

- 独立行政法人国立高等専門学校機構は，全国に51ある国立の高等専門学校で構成されています。その他，22の機構が学校教育，社会教育，科学技術等の事業を実施しています。

国立大学法人等の職員とは

- 平成16年4月より国立大学等の法人化に伴い職員の身分が「国家公務員」から「法人職員」へと変わりました。身分としては，非公務員型となりますがみなし公務員として国家公務員に適用されている制度などは基本的に適用されます。労働基準法や労働安全衛生法等に基づき各国立大学法人等が定めた就業規則などの適用を受けますが原則公務員と同程度の身分保障があります。また，国家公務員として文部科学省などへの人事交流が行われています。

施設系 技術職員とは

国立大学法人等の様々な施設（校舎，研究実験棟，病院，図書館，体育館など）やインフラの**企画，計画，設計，工事監理，維持管理などの業務**を通じて組織の運営に関わっています。主な職員採用試験区分では，「建築」，「電気」，「機械」，「土木」となります。

建築



電気



機械



土木



～施設系業務の三本柱～

企画・計画，設計・工事監理

- キャンパスの中長期計画の策定
- キャンパス整備に関する各種委員会等の運営
- 施設整備事業の計画・設計・実施
- 都市計画，キャンパス計画に係る地域との連携
- 工事の入札・契約の実施
- 工事コスト，品質等の管理
- 建築・土木・設備に関する技術的事項への対応 等

維持管理等

- 施設の点検・評価及び資産価値の維持・向上
- スペースの有効活用
- 長期修繕実施計画の策定
- 施設の保守点検・運転監視・修繕
- 屋外空間や緑地の管理等に関する技術的事項への対応
- 施設・環境・インフラ維持保全・美化の実施
- 宿舍施設の管理運営 等

省エネ，環境・安全

- 温暖化・省エネルギー対策の実施
- インフラ整備の企画立案
- 交通対策，屋外環境整備及び廃棄物処理の実施
- 環境安全衛生管理活動の企画立案・把握・指導等
- 防火・防災に関すること 等

イノベーション創出、グローバル人材の育成、地方創生を担う 「知の拠点」をつくり・まもる

～様々な施設の、中長期計画から維持管理 までを行います～



キャンパス・施設の企画から完成までは数年。
完成後は、機能的で良好な状態に維持向上させていくことが
施設系技術職員のミッションです。

先輩職員の声



大阪大学施設部整備課 機械係員
一村 凌平 (H31年度採用)

私は、機械設備に関する設計・工事監理業務を担当しています。機械設備は空調設備や水に関する設備など種類が幅広くあるため、業務に携わるには豊富な知識や経験が求められます。業務を通じて幅広く新しい知識・技術を学びながら成長できる点に魅力を感じています。
また設備施工・監理という点からキャンパスづくりに貢献できることにやりがいを感じるとともに、完成時の達成感を共有することで工事関係者と人のつながりを感じることができる点も魅力の一つであると思います。



秋田大学施設企画課 企画担当係員
藤原 香菜 (H29年度採用)

私は、企画を担当し学生・教職員に過ごしやすいキャンパスを提供するため、大学内の教育研究棟や病院などの施設及びライフラインに関する整備計画の立案や、予算の要求を行っています。
施設系技術職員は、教育研究施設やライフラインという大学の基盤を支える重要な部分に関わることが出来ます。整備した施設や設備は何十年も学生・教職員の教育研究などに貢献することが出来るため、とてもやりがいを感じる職場だと思います。

キャリアパス、資格、研修

係員

主任

係長

課長補佐

課長

部長

資格取得

- 建築士
- 技術士
- 電気主任技術者
- 建築設備士
- エネルギー管理士
- 施工管理技士 など

研修制度

- 新規職員研修
- 係長研修
- 中堅職員研修
- 幹部職員研修
- 技術職員研修
- 語学研修、会計研修 など

職員の取得資格、能力、勤務評価等により上位ポストに昇進していきます。

職名、職階は各法人で異なります。

採用後に、諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については、法人間で調整を図る仕組みがあります。

～キャンパスづくりから施設整備・マネジメントの実施まで～

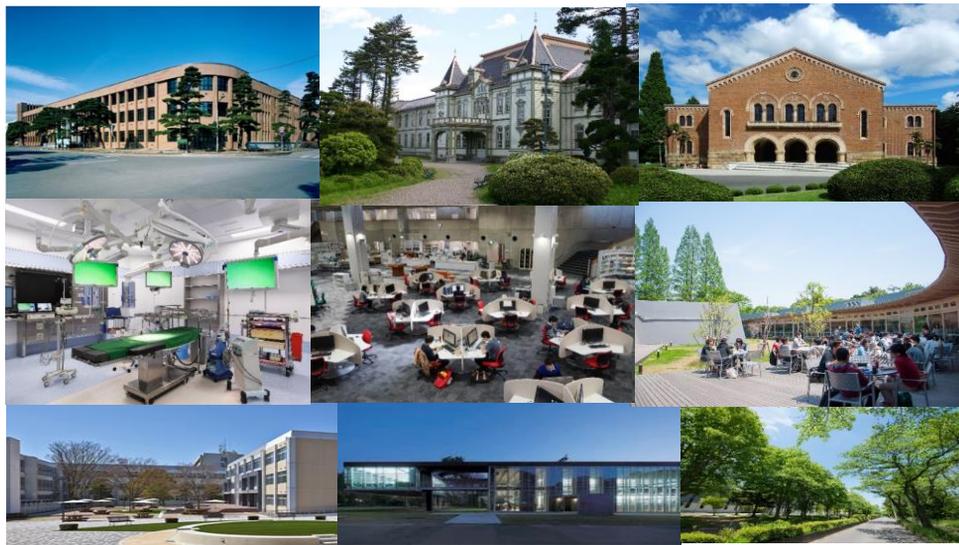
キャンパスづくりの在り方とは※

- 既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるキャンパスに再生するとした「創造的再生」がキャンパスづくりの基本的考え方として示されています。

※「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）より
文部科学省 平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

施設マネジメントの実施

- 「施設マネジメント」とは、管理する施設・設備について、総合かつ長期的視点に立ち、教育研究を支援するための取り組みです。近年は、建物の長寿命化の計画策定や、スペースの有効活用に関する取り組みが重要となっています。



国立大学等の保有する施設等

校舎、研究実験棟、研究所、図書館、附属病院、附属学校、食堂・保育施設など福利厚生施設、体育館など様々な施設、及び広場や街路等を保有しています。

- 国立大学法人等の建物の保有面積は、約2800万㎡であり、東京ドーム約600個分、東京ディズニーランド約35個分にあたります。
- 施設整備にかかる年間の予算規模は数千億円、維持管理費は数百億円に上ります。

施設系技術職員はこれらの施設等の企画・設計・工事監理・維持管理など全てに関わります

施設系技術職員の採用について

国立大学法人等職員統一採用試験

職員の採用方法は国立大学法人等が合同で実施する試験を通じて採用を行っています。
試験は、各地区別で行っています。
詳しくは、各地区採用試験事務室ホームページをご覧くださいか、下記へ電話、メール等でお問い合わせください。

試験区分	
事務系	事務
	図書
技術系	電気
	機械
	土木
	建築
	化学
	物理
	電子・情報
	資源工学
	農学
	林学
	生物・生命科学

施設系技術職員
の主な試験区分

各地区	電話	メール
北海道地区実施委員会	011-706-2019	saiyo@general.hokudai.ac.jp
東北地区実施委員会	022-217-5676	shiken@grp.tohoku.ac.jp
関東甲信越地区実施委員会	03-5841-2769	shikenjimu.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
東海・北陸地区実施委員会	052-788-6053	shikenjimu@adm.nagoya-u.ac.jp
近畿地区実施委員会	075-753-2230	shiken@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
中国・四国実施委員会	082-424-5616	shikenjimu@office.hiroshima-u.ac.jp
九州地区事務・技術系職員等人事委員会	092-802-2340	shikenjimu@jimu.kyushu-u.ac.jp

※各国立大学法人等での具体的な職務内容などについては、各法人等の施設担当部課へお問い合わせください。